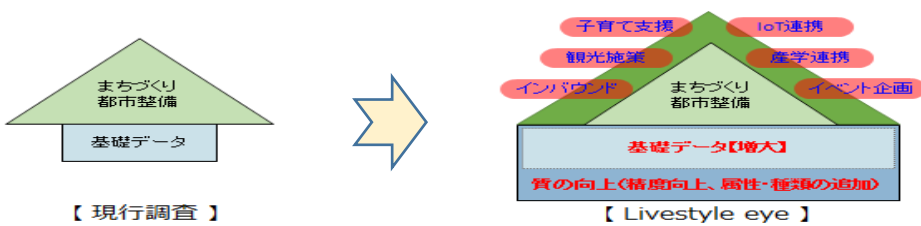


○提案内容 カメラ映像とAI解析による交通量調査解析サービスについて

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の(1)~(7)の技術分野への対応を記載ください

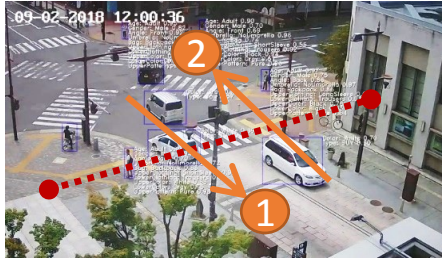
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>現在の交通量調査は、人手によるカウントで行われているが、当該技術は I Pカメラで撮影した映像を A I 解析により自動的に人と車のカウントを正確に行うものであり、平成 3 0 年 1 0 月より弊社より「liveStyle eye」としてフューチャースタンド社（AI分析）と連携してサービス提供しており、昨年末には長野市様からの依頼により、市内スクランブル交差点や善光寺の門前交差点等でのイベント時の交通量実証実験として調査を実施し、スクランブル交差点等の混雑した場所での調査に効果があると高い評価を得ている。</p>  <p>・集計対象の属性を認識して属性毎のカウントと動向分析が可能 ・歩行者検出率：95% 自動車の検出率：99% 但し、夜間は明るさにより検出率は低下</p>	<p>(2) 分析予測技術</p>

(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
 ※課題については、別紙3の(ア)~(シ)の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>I.現在の人手による交通量調査における課題を「LiveStyle eye」（映像AI交通量調査）で解決できます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="183 1108 662 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>現在(手動)の交通量調査の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ①コスト面から年1回の調査しかできない <ul style="list-style-type: none"> ・調査日の天候により、結果に影響がでる ・季節、曜日、イベント等の変動が取れない ②人手で行うことによる不具合が発生 <ul style="list-style-type: none"> ・人により、調査精度にバラツキが発生 ・数多いポイントの計測を行っているが、調査人員の動員が難しくなっている ③混雑している状況での手動カウントは困難 ④人の交通量調査しかできていない </div> <div data-bbox="678 1254 758 1355" style="font-size: 2em; color: yellow;">➔</div> <div data-bbox="774 1108 1324 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Livestyle eyeにすると</p> <p>Livestyle eyeにより全ての課題を解決することができ、「数える」から「解析する」へ、圧倒的な情報量と解析力で調査業務を変革し、より良い行政政策や商業施策への反映ができます。</p> <p>特に、スクランブル交差点では、手動の1/8のコストで、正確かつ連続期間の調査と人以外の車のカウントができ、高い導入効果を得ることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポット契約12時間まで：40,000円 ・年間契約1,200時間まで：1,800,000円 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>Livestyle eyeによる施策反映イメージ</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="295 1825 598 1904"> <p>【現行調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の土台となる統計データの質と量が欲しい </div> <div data-bbox="758 1825 1284 1937"> <p>【LiveStyle eye】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傾向の分析、課題の抽出が容易 ・施策の信頼性が向上、効果把握が容易 ・統計データの質と量の拡大によりあたらしいアイデアが生まれる </div> </div> </div>	<p>(ア) 交通モビリティ</p>

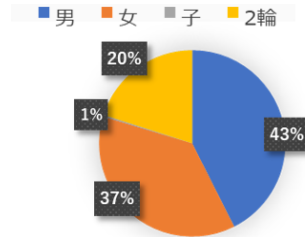
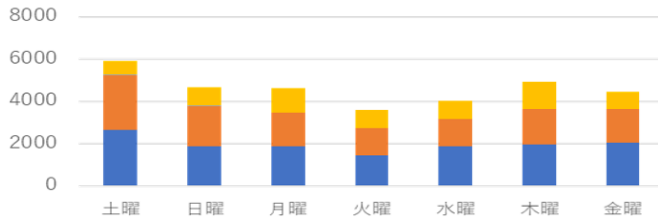
II. Lifestyle eye 歩行者調査レポート例

- 映像の中で、通行量をカウントする場所を選択する 一つの映像から広範囲のエリア（複数のエリア）を測定し歩行者の進行方向、および、男・女・子供の識別が可能



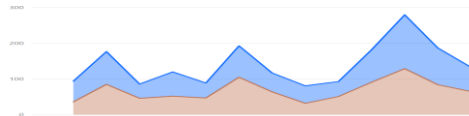
日付	進行方向①					進行方向②				
	男性	女性	子供	2輪	計	男性	女性	子供	2輪	計
MM/DD(土)	1,286	1,114	12	342	2,754	1,354	1,494	22	306	3,176
DD(日)	941	780	9	432	2,162	933	1,119	14	426	2,492
DD(月)	954	681	2	586	2,223	917	902	4	576	2,399
DD(火)	701	544	0	444	1,689	737	765	5	392	1,899
DD(水)	989	539	1	444	1,973	877	752	3	436	2,068
DD(木)	974	690	4	650	2,318	1,008	970	5	622	2,605
DD(金)	968	663	1	384	2,016	1,080	944	2	428	2,454
計	6,813	5,011	29	3,282	15,135	6,906	6,946	55	3,186	17,093

- 歩行者の進行方向、および、男・女・子供の識別が可能

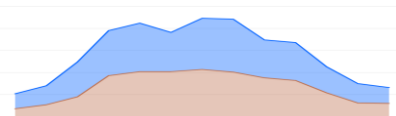


- 時間帯による歩行者（男女別）の割合を視覚化

（平日、朝・昼・夕方それぞれ通行量のピークがある）



（休日、昼の時間帯が通行量ピーク）



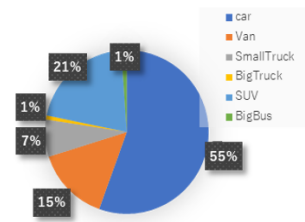
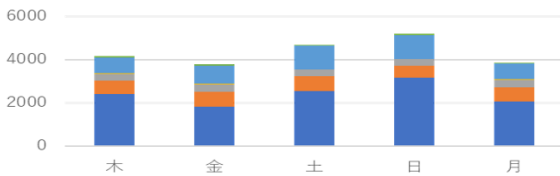
自動車調査レポート例

- 映像から、交通量をカウントする道路を選択する 一つの映像から、進行方向ごと、車種別の交通量集計が可能



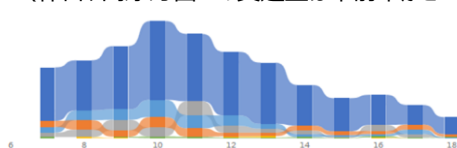
日付	進行方向①							進行方向②						
	Type							Type						
	car	Van	Small Truck	Big Truck	SUV	Big Bus	計	car	Van	Small Truck	Big Truck	SUV	Big Bus	計
MM/DD(木)	1,089	375	161	22	553	22	2,222	1,316	254	167	15	173	20	1,945
DD(金)	770	377	154	30	625	31	1,987	1,053	317	185	18	202	23	1,798
DD(土)	1,075	381	94	10	795	27	2,382	1,496	289	207	18	296	18	2,324
DD(日)	1,474	352	83	7	866	27	2,809	1,709	199	208	14	246	30	2,406
DD(月)	864	361	172	25	585	22	2,029	1,219	278	165	15	150	14	1,841
計	5,272	1,846	664	94	3,424	129	11,429	6,793	1,337	932	80	1,067	105	10,314

- 基礎データから、曜日別の交通量、車種割合などを簡単に視覚化

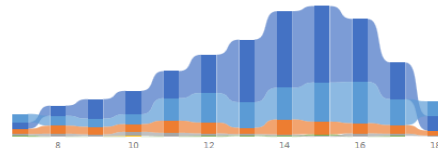


- 時間帯による自動車の割合を視覚化

（休日、高原方面への交通量は午前中がピーク）



（休日、市街地方面への交通量は午後がピーク）



(3) その他

○部局名・担当者・連絡先（電話及びメール）

部局名	担当者	連絡先（電話）	連絡先（メール）
電設・ITビジネス事業部 ITビジネス事業部門 SS部	植木 博	026-213-8930	ueki-hiroshi@tosys.co.jp

(ア)
交通
モビリティ